

■後藤象二郎 <大政奉還>の立役者として<明治維新>に貢献するも、新政府内の対立に敗れ、以後、損な役回り。

ごとうしょうじろう

適塾マブソ・1838＝ 高知城下で、馬廻格の土佐藩士の長子に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 7歳：

・・・ 1847＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝15歳：

松下村塾・・・1856＝18歳：

義叔父の吉田東洋の知遇を得て少林塾に学び、

その推挙で藩に登用されたが、

桜田門外変・1860＝22歳：

生麦事件・・・1862＝24歳：土佐勤王党に東洋が暗殺されたため、職を辞し、以後逆境に耐えるうち、

禁門の変・・・1864＝26歳：\*藩論一変で、大監察となり、藩主山内豊信(容堂)の信任をえて土佐勤王党を断罪。

薩摩藩士密航1865＝27歳：

薩長同盟・・・1866＝28歳：参政として開成館事業を運営し、長崎、上海に赴くなどして藩の“富国強兵”につとめ、  
大政奉還・・・1867＝29歳：坂本竜馬と相知り、幕府の第2次征長失敗後、大政奉還を将軍徳川慶喜により現実化することにつとめ、  
明治維新・・・1868＝30歳：\*維新政府には参与として参画、東京遷都論を主張し、また板垣退助と土佐藩政改革を推進。

工部大輔、左院議長など歴任後、

明治6年政変 1873＝35歳：\*参議になるが、政変で征韓論にやぶれて下野、板垣らと民撰議院設立建白書を左院に提出。

佐賀の乱・・・1874＝36歳：

初の民間工場1875＝37歳：高島炭鉱の経営に乗り出すも失敗、元老院議員となり、副議長をつとめるものの、

三つの反乱・1876＝38歳：辞職。

明治14年政変1881＝43歳：自由党結成に参加し、

新体詩抄・・・1882＝44歳：板垣との渡欧は、資金の出所(政府が自由党勢力弱体化を図るため、三井の資金で洋行させた)をめぐる問題となった。

岩倉具視没・1883＝45歳：

帰国後、朝鮮独立党の金玉均を支援したり、

国民之友始・1887＝49歳：政府の軟弱外交を非難して大同団結運動を指導したりしたが、

帝国憲法発布1889＝50歳：突如黒田清隆内閣に通信大臣として入閣。

以後、山県有朋、松方正義両内閣に留任、

第2次伊藤博文内閣では農商務大臣となったが、

大本教・・・1892＝54歳：

郡司千島探検1893＝55歳：取引所設置問題で弾劾されて辞任し、

日清戦争始・1894＝56歳：

八幡製鉄始・1897＝59歳：没した。